簡単＆スピーディ

1テストあたりたったの500円！
（一部商品700円/テスト）

食中毒菌簡易迅速検出キット

NHイムノクロマトシリーズ

大腸菌 O157 / 大腸菌 O26 世界初！ / 大腸菌 O111 世界初！ / リステリア / サルモネラ / カンピロバクター / ベロ毒素（VT1/2）

特長

簡単な試験操作

試験操作が簡単なため、特殊な技術や経験がなくても試験可能

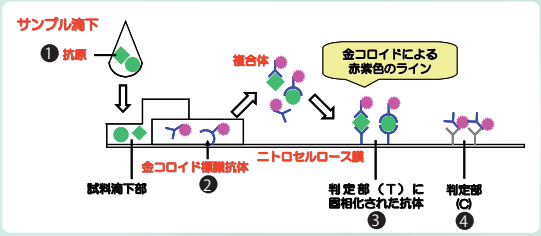
検査日数の短縮

スクリーニング法として使用した場合、増菌培養終了後 15 分で結果を得るとが可能。
⇒陰性であることが早く確認可能。

検査コストの削減が可能

検査時間が短縮されるため、人件費を含む検査コストの削減が可能。

検出原理



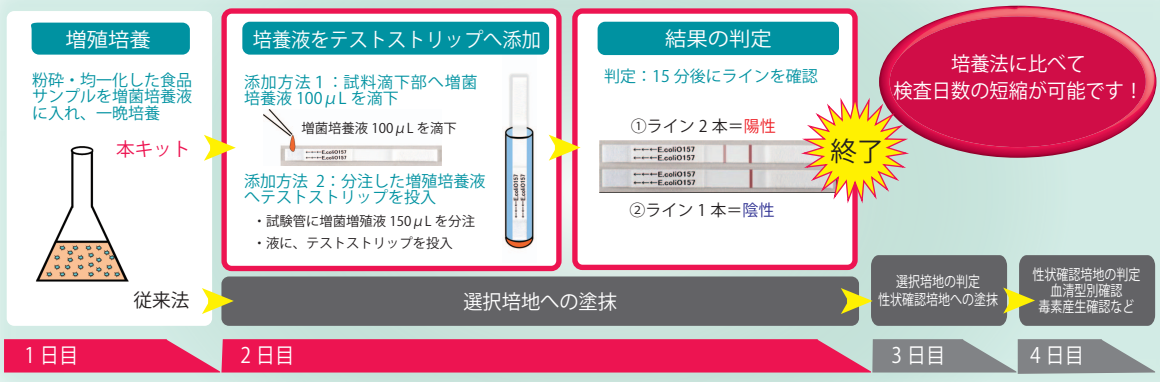
❶ サンプル中の抗原と金コロイド標識抗体が抗原抗体反応により結合（複合体を形成）

❷ 複合体がニトロセルロース膜中を毛細管現象により移動

❸ 判定部（T）に固相化された目的物質に対する抗体と複合体が抗原抗体反応により結合
⇒ 金コロイドが密集することにより赤紫色の発色

❹ 判定部（C）に固相化された金コロイド標識抗体に対する抗体と金コロイド標識抗体が、抗原抗体反応により結合
⇒ 判定部（C）に赤紫色の発色

試験方法



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

性能

大腸菌 O157　偽陽性が出にくい

最小検出感度　大腸菌 O157 標準菌株 3 株、分離菌株 4 株による試験の結果、1×10 ^{4}～10 ^{6}CFU/mL が最小検出感度であることが確認されています。

注 1：本キットの最小検出感度は、試料中の成分の影響により、変動する場合があります。
注 2：本キットは大腸菌 O157 検出用の試薬のため、他の腸管出血性大腸菌の有無を確認することはできません。
注 2：本キットは大腸菌 O157 検出用試薬のため、ベロ毒素産生の有無は確認できません。
注 4：*Citrobacter freundii* の一部および *Salmonella kusami* (O30) は大腸菌 O157 と同一抗原を有しているため、交差反応性を示す可能性があります。

従来品との偽陽性の比較 ― 他社製品に比べ高い特異性を有している (偽陽性が出にくい)

菌株	イムノクロマト試験結果														
	10^{10} cfu/mL			10^{9} cfu/mL			10^{8} cfu/mL			10^{7} cfu/mL			10^{6} cfu/mL		
	本キット	A 社	B社	本キット	A 社	B社	本キット	A 社	B社	本キット	A 社	B社	本キット	A 社	B社
C.freundii	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	−	+	−
C.freundii	−	+	+	−	+	+	−	+	+	−	+	−	−	+	−
E.hermannii	−	+	+	−	+	+	−	+	+	−	+	−	−	−	−
E.hermannii	−	+	+	−	+	+	−	+	+	−	+	−	−	−	−
E.hermannii	−	+	+	−	+	+	−	+	+	−	+	−	−	−	−
E.hermannii	−	+	+	−	+	+	−	+	+	−	−	−	−	−	−
Hafnia alvei	−	+	−	−	+	−	−	+	−	−	−	−	−	−	−

大腸菌 O26

最小検出感度　大腸菌 O26 標準菌株 2 株、分離菌株 6 株による試験の結果、1×10 ^{4}～10 ^{6}CFU/mL が最小検出感度であることが確認されています。

注 1：本キットの最小検出感度は、試料中の成分の影響により、変動する場合があります。
注 2：本キットは大腸菌 O26 検出用の試薬のため、他の腸管出血性大腸菌の有無を確認することはできません。
注 3：本キットは大腸菌 O26 検出用の試薬のため、ベロ毒素産生の有無は確認できません。

菌株	試験菌数				
	10^{7}cfu ／ mL	10^{6}cfu ／ mL	10^{5}cfu ／ mL	10^{4}cfu ／ mL	10^{3}cfu ／ mL
E.coli O26 RIMD05091876	+	+	+	+	−
E.coli O26 分離株	+	+	+	w+	−

大腸菌 O111

最小検出感度　大腸菌 O111 標準菌株 2 株、分離菌株 5 株による試験の結果、1×10 ^{4}～10 ^{6}CFU/mL が最小検出感度であることが確認されています。

注 1：本キットの最小検出感度は、試料中の成分の影響により、変動する場合があります。
注 2：本キットは大腸菌 O111 検出用の試薬のため、他の腸管出血性大腸菌の有無を確認することはできません。
注 3：本キットは大腸菌 O111 検出用の試薬のため、ベロ毒素産生の有無は確認できません。

菌株	試験菌数				
	10^{7}cfu ／ mL	10^{6}cfu ／ mL	10^{5}cfu ／ mL	10^{4}cfu ／ mL	10^{3}cfu ／ mL
E.coli O111　RIMD0509829	+	+	+	+	−
E.coli O111　分離株	+	+	+	+	−

リステリア

最小検出感度　*L.monocytogenes* 標準株 4 株、*L.innocua* 標準株 1 株、*L.ivanovii* 標準株 1 株、*L.seeligeri* 標準株 1 株、*L.welshmeri* 標準株 1 株、*L.grayi* 標準株 1 株による試験の結果、1×10 ^{5}～1×10 ^{7} CFU/mL が最小検出感度であることが確認されています。

注 1：本キットの最小検出感度は、リステリア属菌の血清型、および試料中の成分の影響により変動する場合があります。
注 2：本キットは *Listeria* 属を検出するものであり、*L.monocytogenes* を特定することはできません。

菌株	試験菌数				
	10 ^{8}cfu/mL	10 ^{7}cfu/mL	10 ^{6}cfu/mL	10 ^{5}cfu/mL	10 ^{4}cfu/mL
L.monocytogenes 標準株 1	+	+	±	−	Not tested
L.monocytogenes 標準株 2	+	+	−	Not tested	Not tested
L.monocytogenes 分離株	+	+	+	+	±
L.seeligeri 標準株	+	+	+	Not tested	Not tested
L.ivanovii 標準株	+	±	±	Not tested	Not tested
L.innocua 標準株	±	−	Not tested	Not tested	Not tested
L.welshimeri 標準株	+	±	Not tested	Not tested	Not tested
L.welshimeri 分離株	+	±	Not tested	Not tested	Not tested
L.grayi 標準株	+	±	Not tested	Not tested	Not tested
L.grayi 分離株 1	+	±	±	Not tested	Not tested
L.grayi 分離株 2	±	−	Not tested	Not tested	Not tested

大腸菌 O157 | 大腸菌 O26 世界初！ | 大腸菌 O111 世界初！ | リステリア | サルモネラ | カンピロバクター | ベロ毒素 (VT1/2)

サルモネラ　下記に示す増菌培地で使用可能

最小検出感度　*S. Enteritidis* 標準株 2 株、分離株 3 株による試験の結果、1×10 ^{5} ～ 1×10 ^{7}CFU/mL が最小検出感度であることが確認されています。

注 1：本キットの最小検出感度は、*S. Enteritidis* の菌株、増菌培地の種類、および試料中の成分の影響により変動する場合があります。
注 2：本キットは *Salmonella enteritids* を検出するため、他の血清型の *Salmonella* を検出できません。
注 3：A 社製品は、*S.enteritidis* を含まない RV 培地においても陽性反応を示したため判定不可とした。

従来品との検出感度の比較

1.BPW 培地

菌株	キットの種類	試験菌数				
		10^{8}cfu/mL	10^{7}cfu/mL	10^{6}cfu/mL	10^{5}cfu/mL	10^{4}cfu/mL
S.enteritids 標準株	本キット	+	+	+	−	−
	A 社キット	+	+	+	−	−
S.enteritids NBRC3313	本キット	+	+	−	−	−
	A 社キット	+	+	−	−	−

2.EEM　培地

菌株	キットの種類	試験菌数				
		10^{8}cfu/mL	10^{7}cfu/mL	10^{6}cfu/mL	10^{5}cfu/mL	10^{4}cfu/mL
S.enteritids 標準株	本キット	+	+	+	+	−
	A 社キット	Not tested	Not tested	+	−	−
S.enteritids NBRC3313	本キット	+	+	−	−	−
	A 社キット	+	+	−	−	−

3.RV　培地

菌株	キットの種類	試験菌数				
		10^{8}cfu/mL	10^{7}cfu/mL	10^{6}cfu/mL	10^{5}cfu/mL	10^{4}cfu/mL
S.enteritids 標準株	本キット	+	+	+	−	−
	A 社キット	判定不可注 3)	判定不可注 3)	判定不可注 3)	判定不可注 3)	判定不可注 3)
S.enteritids NBRC3313	本キット	+	+	−	−	−
	A 社キット	判定不可注 3)	判定不可注 3)	判定不可注 3)	判定不可注 3)	判定不可注 3)

カンピロバクター

最小検出感度　*C.jejuni* 標準菌株 6 株による試験では、1 ×10 ^{4}～ 10 ^{6}CFU/mL、また *C.coli* 標準株 2 株による試験では、1 ×10 ^{5} ～ 10 ^{6}CFU/mL であることが確認されています。

注 1：本キットの最小検出感度は、試料中の成分の影響により、変動する場合があります。

菌株	試験菌数				
	10 ^{8}cfu/mL	10 ^{7}cfu/mL	10 ^{6}cfu/mL	10 ^{5}cfu/mL	10 ^{4}cfu/mL
C.jejuni ATCC 3 3 2 9 1	+	+	+	w+	−
C.jejuni ATCC 3 3 5 6 0	+	+	+	w+	−
C.jejuni ATCC 4 3 4 3 0	Not tested	+	+	+	w+
C.jejuni ATCC 4 9 9 4 3	+	+	+	−	Not tested
C.jejuni ATCC BAA-1 1 5 3	Not tested	+	+	+	−
C.coli ATCC 4 3 4 7 8	Not tested	+	+	−	Not tested

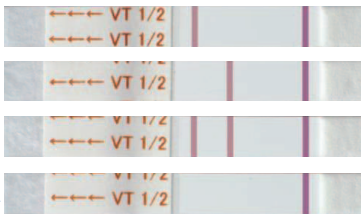
ベロ毒素　VT1 と VT2 の識別が可能

1 本のテストストリップでベロ毒素の有無だけでなく、VT1 と VT2 の識別が可能です。

大腸菌 O157、O26、O111 と同時に検査可能

大腸菌 O157、O26、O111 検査用に増菌した培養液から検査可能です。

結果の判定

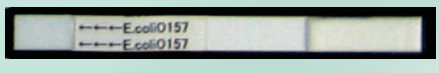


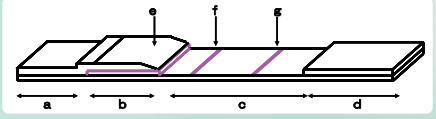
検出感度は、VT1 および VT2 ともに、2.5ng/mL

説明書に記載された「試料溶液の調製」および「試験操作」に従い、試験を行った場合

注 1：高濃度の VT1 もしくは VT2 が試料溶液中に存在する場合、VT1 テストラインおよび VT2 テストラインともに観察される可能性あり。

各部名称





a. 試料滴下部：サンプルを滴下する部位（手で触れないよう注意）
b. 試薬含有部：反応に必要な試薬が含有されている部位
c. 展開部：サンプルが流れるニトロセルロース膜（キズをつけないよう注意）
d. 吸収パッド：余分なサンプル溶液を吸収する部位
　サンプル名などを書き込むことが可能
e. 測定項目記載位置：キットの測定対象を記載
f. テストライン出現位置：赤紫色のラインが認められた場合は陽性と判定
g. コントロールライン出現位置：サンプルの展開を確認
　必ず赤紫色のラインが出現

構成内容

A：テストストリップ　2テスト ×10 包装
B：取扱説明書　1部
C：ビニールパウチ袋　1枚

製品情報

日本ハム株式会社　メーカー略号：NPH

品名	品番	包装	希望販売価格
NH イムノクロマト O157	999100000	20 テスト	\10,000
NH イムノクロマト O26	999400000	20 テスト	\10,000
NH イムノクロマト O111	999500000	20 テスト	\10,000
NH イムノクロマト リステリア	999200000	20 テスト	\14,000
NH イムノクロマト サルモネラ	999300000	20 テスト	\10,000
NH イムノクロマト カンピロバクター	999600000	20 テスト	\14,000
NH イムノクロマト VT1/2	999700000	20 テスト	\14,000

取扱上の注意
本キットをご使用になる際には、必ず取扱説明書をお読みください。
本キットは食品中の微生物を検出するための試薬であり、体外診断薬としての承認は得ていません。
本キットで陽性を示した試料については、他の方法により必ず確認を行ってください。
試験を行う際には、感染を予防するため、適切な設備・施設で行い、標準的な微生物検査手順にて実施してください。
試験に使用したテストストリップや増菌培地、試料、および試料溶液の残り等は、適切な滅菌処理を施し、廃棄してください。

関連商品

MycoJudge トータルアフラトキシン（ELISA 法）

食品中のトータルアフラトキシン（B_1、B_2、G_1、G_2）を高感度に測定可能

アフラトキシンは、*Aspergillus flavus* 等のカビが生産する発癌性物質で、動物や人に対して強い肝毒性等を有します。アフラトキシンは 13 種類に分類され、その中で最も毒性が強いのは、アフラトキシン B_1 と考えられています。このアフラトキシンによる食品の汚染は、ピーナッツをはじめとするナッツ類、豆類、トウモロコシ等の穀類及び香辛料等で報告されています。

本商品は、食品中のトータルアフラトキシン量（B_1、B_2、G_1、G_2 の合算値）を ELISA 法により簡便に測定できるキットです。

日本ハム株式会社　メーカー略号：NPH

品名	測定範囲	品番	包装	希望販売価格
MycoJudge トータルアフラトキシン	2.5 ～ 20 ppb	NMJ001	1 kit（96 test）	￥72,000

お願い および 注意事項

● 希望販売価格・・・「希望販売価格」は参考であり、販売店様からの販売価格ではございません。
記載の希望販売価格は２０１１年２月１日現在の希望販売価格です。
予告なしに改定される場合がありますので、ご注文の際にご確認下さい。消費税は含まれておりません。

● 使 用 範 囲・・・記載の商品は全て、「研究用試薬」です。
人や動物の医療用・臨床診断用等としては使用しないよう、十分ご注意ください。

取扱店

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

〒135-0016　東京都江東区東陽 2-2-20 東陽駅前ビル
URL：http://www.cosmobio.co.jp/

● 営業部（お問い合わせ）
TEL：(03) 5632-9610　FAX：(03) 5632-9619
TEL：(03) 5632-9620